

# プログラミングマニュアル

全方向読取りレーザースキャナ

ITS-6XXX シリーズ/A-50M

Rev 2. 1b



株式会社アイテックス

## ご使用上の注意

本機の使用誤り、故障、その他不具合による損害、接続している機器の付带的あるいは間接的な損害については、一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

本マニュアルを許可なく任意の手段によって、複製、転載することを禁止します。

本マニュアルは改良のため予告なく変更することがあります。

本製品を正しくご使用いただくために、このマニュアルをよくお読みになり保管してください。

本マニュアル中の全ての商標、固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

Copyright ZEBEX INDUSTRIES INC.

## 目次

はじめに .....	1
スキャナの設定を変更する .....	2
初期設定値一覧 .....	3
操作パラメータの初期値 .....	3
キーボードインターフェースの初期値 .....	4
RS232Cインターフェースの初期値 .....	4
USB (HID) インターフェースの初期値 .....	4
読み取りシンボルの初期値 .....	5
バーコードメニューメニューのプログラム手順 .....	7
プログラミングモードの開始／終了 .....	8
システム設定 .....	9
リセット .....	10
キャンセル .....	10
RS232Cインターフェース初期設定 .....	11
キーボードインターフェース初期設定 .....	11
USB (HID) インターフェース初期設定 .....	12
ユーザ設定として保存 .....	13
ユーザ設定に戻す .....	13
RS-232インターフェース .....	14
ボーレート .....	15
データビット .....	20
ストップビット .....	21
パリティ .....	22
ハンドシェイク(フロー制御) .....	25
ACK/NAK応答詳細設定 .....	27
BELキャラクタ読み込み時ビープ .....	32
メッセージターミネータ .....	33
キーボードインターフェース .....	37
キーボードタイプ .....	38
メッセージターミネータ .....	40
Caps Lockの状態 .....	42
ファンクションキーモード .....	43
USBインターフェース .....	44
キーボードタイプ .....	45

メッセージターミネータ .....	47
メッセージターミネータ-H.tab .....	46
スリープモード .....	49
モータ スリープ .....	50
レーザ スリープ .....	53
ビープトーン .....	56
音の高低 .....	57
ボリューム .....	59
鳴動時間 .....	61
LED点灯とビープのタイミング .....	64
起動時の鳴動 .....	65
スリープ導入時の鳴動 .....	66
データ編集 .....	67
プリフィックス/サフィックス付加 .....	68
データ長の付加 .....	69
文字削除 .....	70
2度読み禁止時間 .....	71
2度読み禁止時間 .....	72
転送タイミング .....	78
データ間 転送待ち時間 .....	79
文字間 転送待ち時間 .....	81
バーコード .....	84
読取バーコード選択 .....	85
UPC/EAN/JAN コード設定 .....	94
UPC/EAN/JAN 読取選択 .....	94
UPC ⇄ JAN 変換 .....	99
先頭文字転送 .....	102
チェックデジット .....	105
JAN ⇄ ISBN/ISSN 変換 .....	109
アドオン .....	110
2段バーコード .....	119
一致チェック回数 .....	122
アドオン検索時間 .....	134
マージン .....	137
CODE39 設定 .....	142

CODE39タイプ .....	142
スタート/ストップキャラクタ .....	143
チェックデジット .....	144
読み取り桁数 .....	146
連結 .....	147
一致チェック .....	148
CODABAR 設定 .....	150
スタート/ストップキャラクタ .....	150
チェックデジット .....	152
読み取り桁数 .....	154
連結 .....	155
一致チェック .....	156
CODE128/EAN128 設定 .....	158
チェックデジット .....	158
読み取り桁数 .....	160
FNCコード 取り扱い .....	161
一致チェック .....	163
ITF 設定 .....	165
チェックデジット .....	165
読み取り桁数 .....	167
ITF桁数固定 .....	168
一致チェック .....	169
MSI/PLESSY 設定 .....	171
チェックデジット .....	171
読み取り桁数 .....	174
一致チェック .....	175
CODE93 設定 .....	177
チェックデジット .....	177
読み取り桁数 .....	179
一致チェック .....	180
コードIDの選択 .....	182
コードIDの選択 .....	183
付録 .....	192
付録A CODE39 FULL ASCIIコード表 .....	192

付録B ファンクションキー割り当て .....	194
SET .....	195
プログラミングモードの開始／終了 .....	195

ASCIIキャラクタ設定メニュー

ASCIIキャラクタバーコード .....	別冊
-----------------------	----

## 1. はじめに

ITS-6XXX シリーズ/A-50Mは、接続する機器に合ったインタフェースや運用アプリケーションに合った各種の設定をプログラミング・バーコード・ラベルの読み取りによって簡単に設定することができます。変更された設定はメモリに書き込まれ電源が切れても保存されています。1つの項目を後で変更するときには、追加する項目だけを読み取り設定します。(それ以前の設定に変更部分のみ上書きされます)

ITS-6XXXシリーズはマルチインタフェースモデルです。接続するインタフェースタイプの設定をすると、リセットラベルで初期化しても直前のインタフェースタイプが初期値となります。

他のインタフェースに変更する場合は、設定用バーコードを読んで、インタフェースケーブルも変更してください。

(A-50Mはインタフェースの変更はできません。)

プログラミング・バーコード・ラベルの読み取りでは、**正しく読まれた時には短いピープ音が鳴り、無効あるいは間違ったラベルを読んだ時は連続ピープ音が鳴ります。**

ほとんどのモデルでキーボードおよびUSBインタフェース接続するときにはACアダプタなし動作が可能です。しかし、PCの電源供給状況によってACアダプタを必要とします。またUSBハブ接続仕様の場合もACアダプタを必要とします。

## 2. スキャナの設定を変更する

スキャナの設定を変更するには以下の手順に従ってください。

1. プログラミングモードの開始／終了をスキャンする。  
(2回のピープ音 低ー高)
2. 必要な設定用のバーコードをスキャンする。  
(1回のピープ音)
3. プログラミングモードの開始／終了をスキャンして、設定を保存する。(2回のピープ音, 長いー短い)

プログラミング中に有効なバーコードが読まれた時には、高いピープ音が鳴ります。

## 3. リセットバーコード

「リセット バーコード」をスキャンすると、すべてのパラメータは初期設定値に戻ります。



#### 4. 初期設定値一覧

機能	初期設定
<b>スリープモード</b>	
モータスリープモード	30分後
レーザスリープモード	15分後
<b>スキャナタイミング</b>	
2度読み防止ディレイ	500msec
<b>ビープトーン</b>	
周波数	中音
時間	50msec
<b>コードID</b>	
Code ID	off
Code 39	M
ITF 2 of 5	I
Chinese post code	H
UPC-A	A
UPC-E	E
EAN-13	F
EAN-8	FF
Codabar	N
Code 128	K
Code 93	L
MSI/Plessey	P

## キーボードインターフェースの初期設定

機能	初期設定
キーボードタイプの選択	IBM PC/AT USA
メッセージターミネーター	ENTERキー

## RS-232C インターフェースの初期設定

機能	初期設定
ハンドシェーキングプロトコル	None
ACK/NAK 応答時間設定	300 msec
ボーレート	9600
データ ビット	8
ストップ ビット	1
パリティ	None
メッセージターミネーター選択	CR/LF

## USB (HID) インターフェイスの初期設定

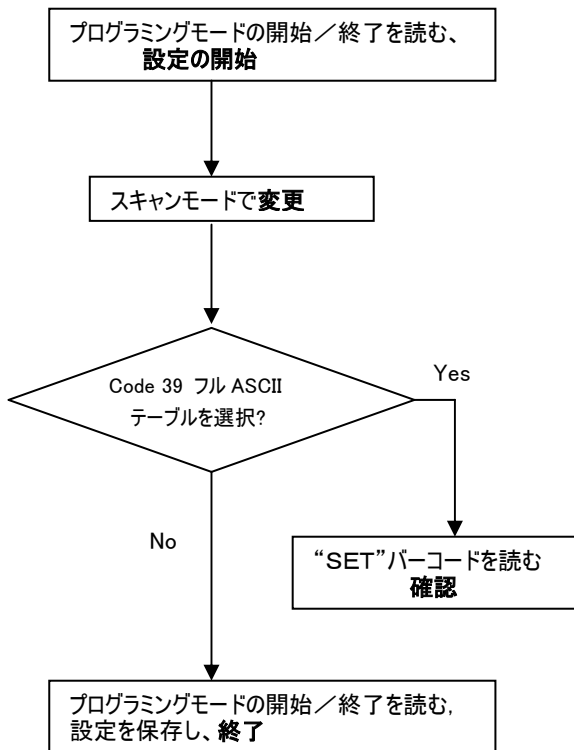
機能	初期設定
キーボードタイプの選択	US キーボード
メッセージターミネーター	ENTER

## 読み取りシンボルの初期設定

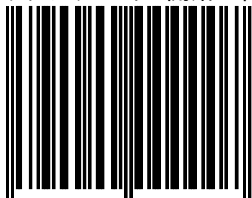
機能	項目	初期値
読み取りコード	Code 39	読む
	Codabar	読まない
	UPC/EAN/JAN	読む
	ITF 2 of 5	読まない
	Code 128	読まない
	EAN-128(+Code128)	読まない
	UPC/EAN/JAN アドオン	読まない
	ISSN/ ISBN	読まない
	Code 93	読まない
	MSI/PLESSY	読まない
	Italian Pharmacy	読まない
	Chinese Post Code	読まない
	Code 39	Codes
スタート/ストップ キャラクター		転送しない
チェックデジット		チェックしない
Concatenation		Off
桁数		3～32桁
Interleaved 2 of 5	桁数	6～32桁
	チェックデジット	チェックしない
Chinese Post Code	桁数	10～32桁
	チェックデジット	チェックしない

UPC/EAN /JAN	Format	All
	Addendum	読まない
	UPC-E=UPC-A	変換しない
	UPC-A leading digit	転送する
	UPC-A チェックデジット	転送する
	UPC-E leading digit	転送する
	UPC-E チェックデジット	転送する
Codabar	Type	Standard
	スタート/ストップ キャラクター	A,B,C,D
	桁数	6～32 桁
Code 128	FNC 2 append	Disable
	桁数	3～62桁
	チェックデジット	Disable
Code 93	桁数	3～32桁
	チェックデジット	転送しない
MSI	桁数	6～32桁
	チェックデジット	転送しない
Italian Pharmacy	Transmit "A" Character	転送しない

## 5. バーコードメニューのプログラム手順



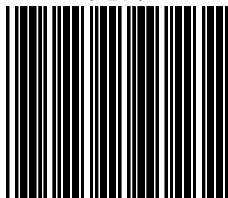
プログラミングモードの開始／終了



枠付きの設定項目は初期値を示します。

# システム設定

## システム設定 リセット

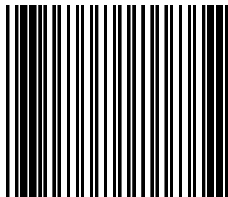


※ “リセット”を読むとインターフェース以外の全ての設定が初期値に戻ります。

※ “リセット”を読むとスキャナはリセット直前のインターフェースモードになります。

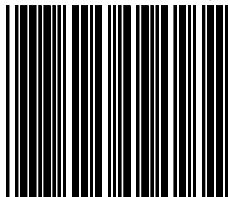
※ スキャナを最初に設定する時は使用するインターフェースモードを設定する必要があります。

“キャンセル”を読むとプログラミングモードを中止します。  
キャンセル(プログラミングモードの終了)

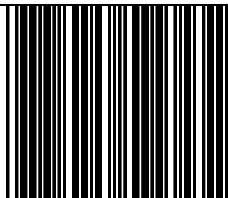




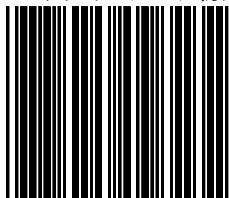
システム設定  
RS-232Cインターフェース初期設定



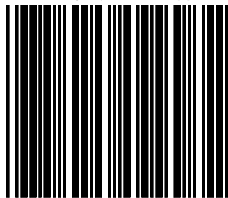
キーボードインターフェース(PC/AT)初期設定



システム設定  
USB(HID)インターフェース初期設定

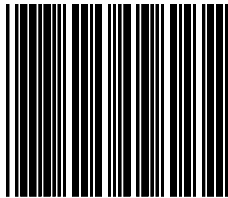


システム設定  
ユーザ設定として保存



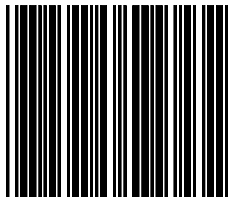
変更された設定をユーザ設定として保存します。

ユーザ設定に戻す

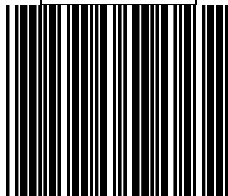


# RS-232C インターフェイス

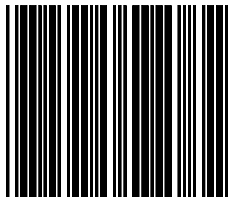
RS-232C インターフェース  
ボーレート 19200



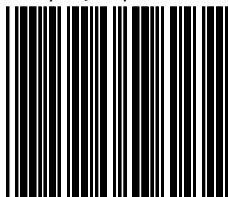
ボーレート 9600



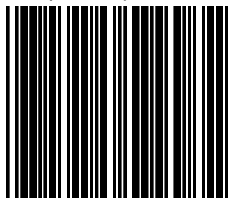
RS-232C インターフェース  
ボーレート 4800



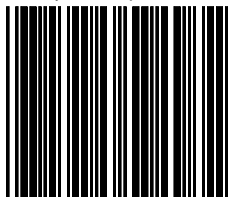
ボーレート 2400



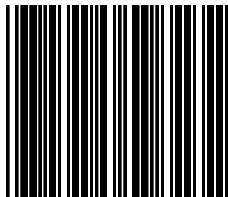
RS-232C インターフェース  
ボーレート 1200



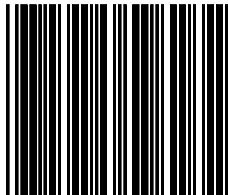
ボーレート 600



RS-232C インターフェース  
ボーレート 300

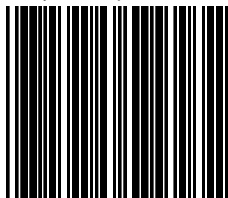


ボーレート 38400

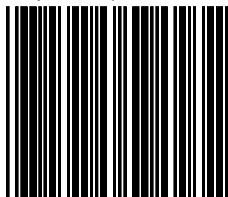




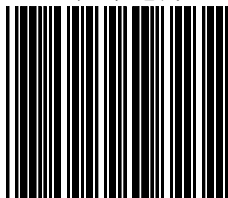
RS-232C インターフェース  
ボーレート 57600



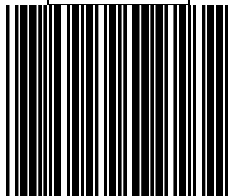
ボーレート 115200



RS-232C インターフェース  
7 データ・ビット

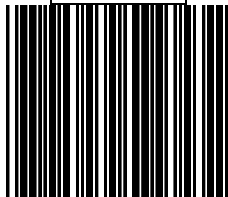


8 データ・ビット

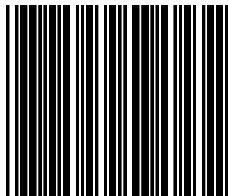


RS-232C インターフェース

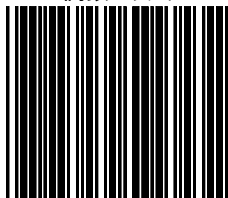
ストップビット 1



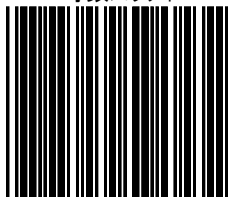
ストップビット 2



RS-232C インターフェース  
偶数パリティ

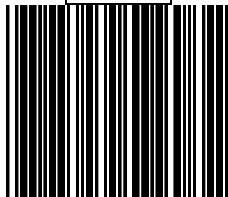


奇数パリティ

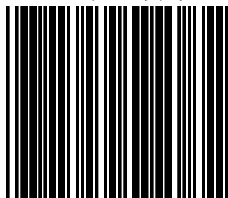


RS-232C インターフェース

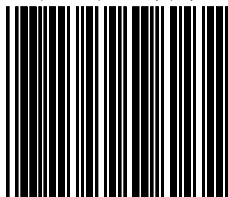
パリティなし



RS-232C インターフェース  
マーク パリティ

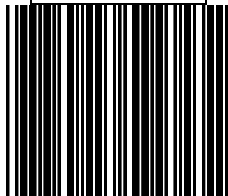


スペース パリティ

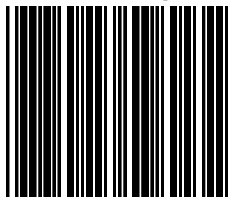


RS-232C インターフェース

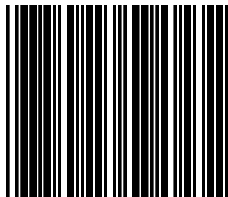
ハンドシェイク なし



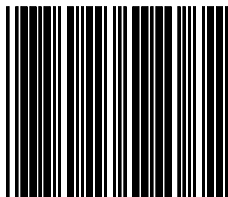
RTS/CTS オン



RS-232C インターフェース  
ACK/NAK



Xon/Xoff

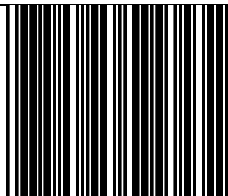




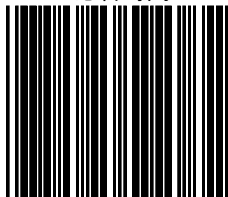
RS-232C インターフェース

ACK/NAK 応答時間設定

ACK/NAK 応答時間 300msec

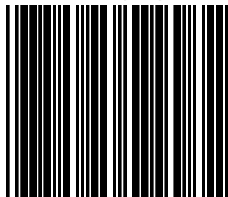


ACK/NAK 応答時間 500msec

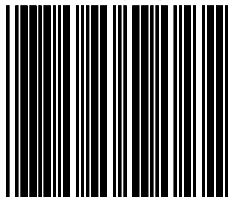


RS-232C インターフェース

ACK/NAK 応答時間 1sec

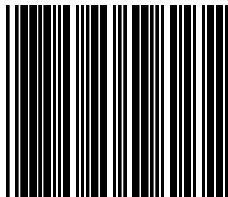


ACK/NAK 応答時間 2sec

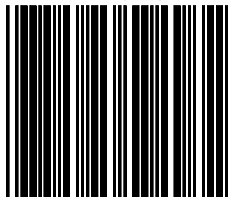


RS-232C インターフェース

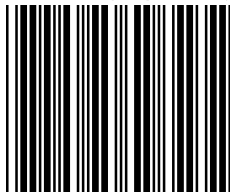
ACK/NAK 応答時間 3sec



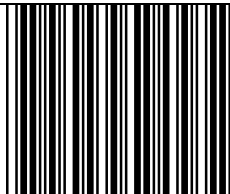
ACK/NAK 応答時間 5sec



RS-232C インターフェース  
ACK/NAK 応答時間 無期限



RS-232C インターフェース  
ACK/NAK 応答時間エラー音 オフ



ACK/NAK 応答時間エラー音 オン



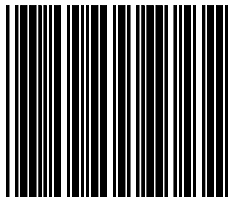
RS-232C インターフェース  
<BEL>キャラクタ読込時 ビープ



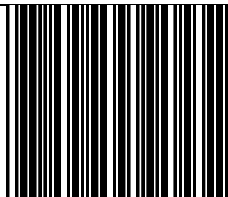
<BEL>キャラクタ読込時 無視



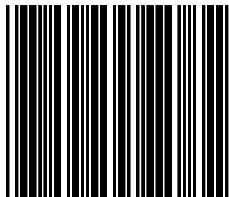
RS-232C インターフェース  
メッセージターミネータ なし



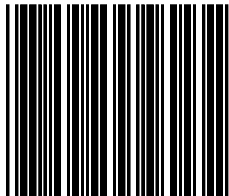
メッセージターミネータ CR/LF



RS-232C インターフェース  
メッセージターミネータ CR

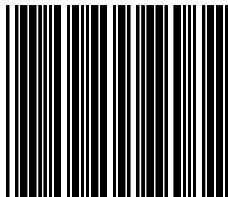


メッセージターミネータ LF

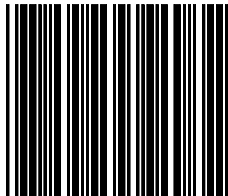




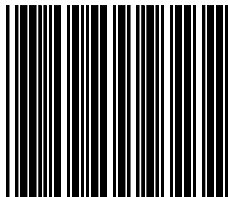
RS-232C インターフェース  
メッセージターミネータ H.tab



メッセージターミネータ STX/ETX



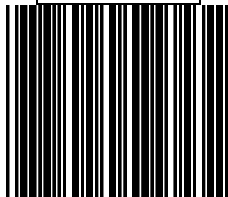
RS-232C インターフェース  
メッセージターミネータ EOT



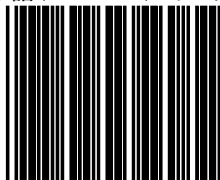
# キーボード インターフェース

キーボードインターフェース

USA キーボード



日本語(DOS/V) キーボード

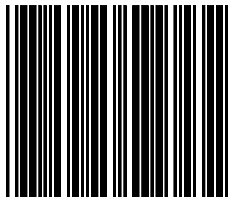


\* K L 1 5 \*

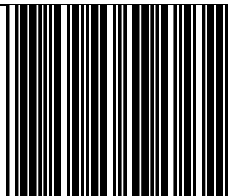
キーボードインターフェース  
インターナショナルキーボード  
(ALTモード)



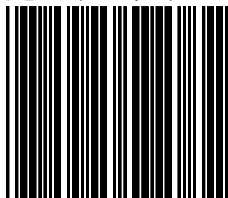
キーボードインターフェース  
メッセージターミネータ なし



メッセージターミネータ ENTER



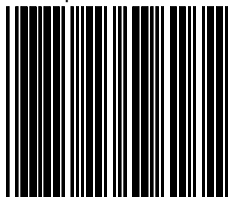
キーボードインターフェース  
メッセージターミネータ H.tab



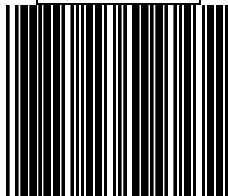
キーボードインターフェース

Caps Lock の状態設定

Caps Lock On

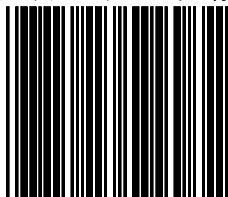


Caps Lock Off



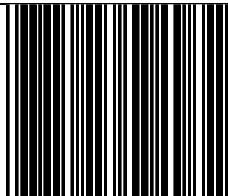


キーボードインターフェース  
ファンクションキーモード  
ファンクションキーモード 有効



機種によって、Ascii キャラクタが、ESC キーや F1 キーなどのファンクションキーに割り当てられます。(付録 B 参照)

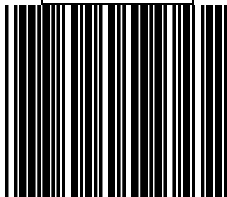
ファンクションキーモード 無効



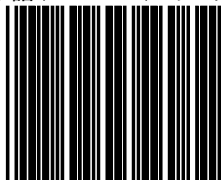
# USB インタフェース

USB インターフェース

USAキーボード

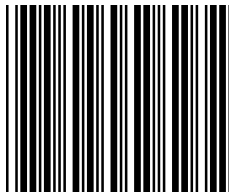


日本語(DOS/V) キーボード

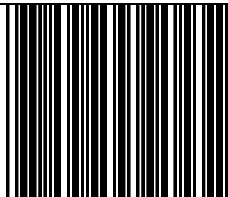


\* K L 1 5 \*

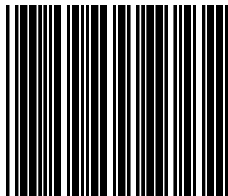
USB インターフェース  
インターナショナルキーボード  
(ALT モード)



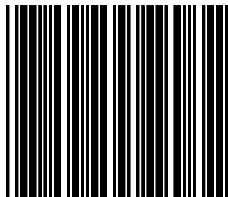
USB インターフェース  
メッセージターミネータ ENTER



メッセージターミネータ なし

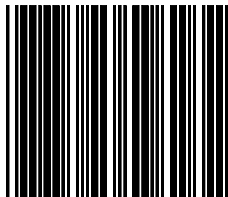


USB インターフェース  
メッセージターミネータ H.tab

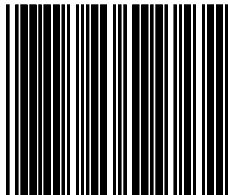


# スリープモード

スリープモード  
モータ スリープモードオフ

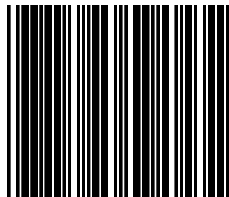


モータ スリープまで5分

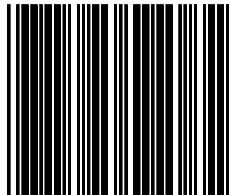




スリープモード  
モータ スリープまで 10 分

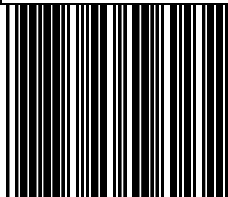


モータ スリープまで 20 分

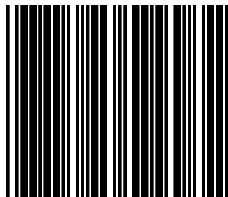


スリープモード

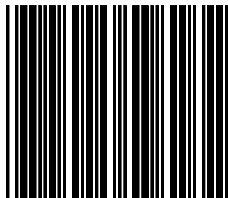
モータ スリープまで 30 分



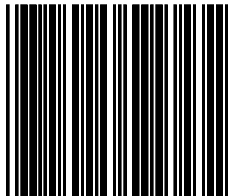
モータ スリープまで 60 分



スリープモード  
レーザ スリープモードオフ

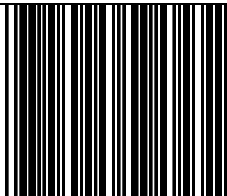


レーザ スリープまで5分

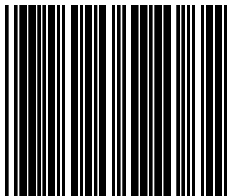


スリープモード

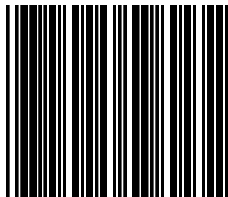
レーザ スリープまで 10 分



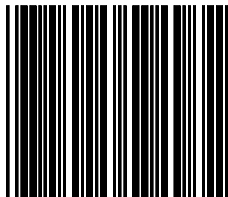
レーザ スリープまで 15 分



スリープモード  
レーザ スリープまで 20 分

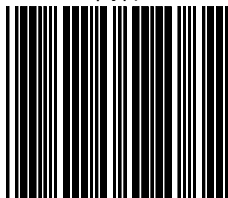


レーザ スリープまで 30 分

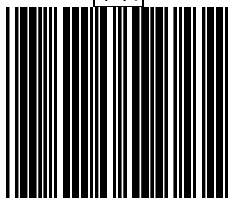


# ビーブトーン

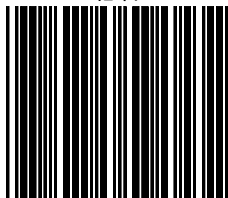
ビーブ トーン  
高音



中音



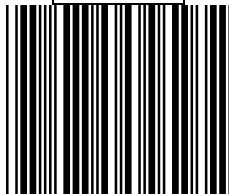
ビーブ トーン  
低音





ビープ トーン

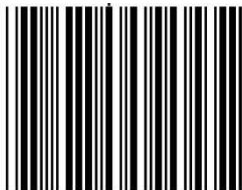
ボリューム 大



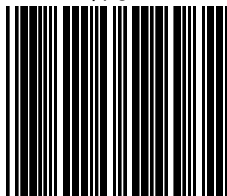
ボリューム 中



ビープ トーン  
ボリューム 小



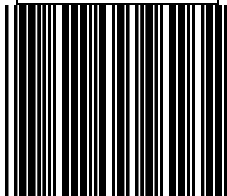
音なし



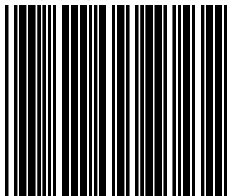
ブザー音なしに設定後再度ブザーをONにするには、高音、中音、低音のどれかのバーコードを初めに設定してください。

ビーブ トーン

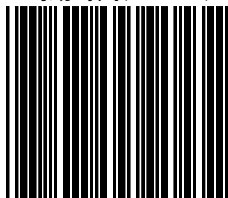
鳴動時間(100msec)



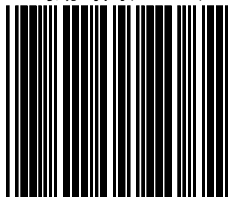
鳴動時間(50msec)



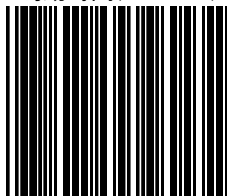
ビーブ トーン  
鳴動時間(20msec)



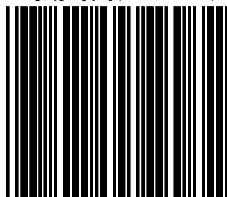
鳴動時間(5msec)



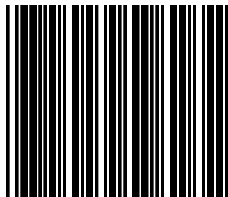
ビーブ トーン  
鳴動時間(200msec)



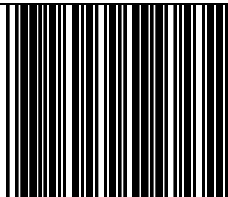
鳴動時間(500msec)



ビーブ トーン  
転送後 LED 点灯およびビーブ

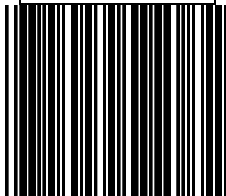


転送前 LED 点灯およびビーブ

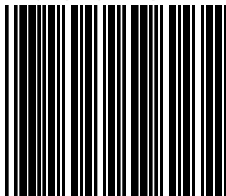


ビーブ トーン

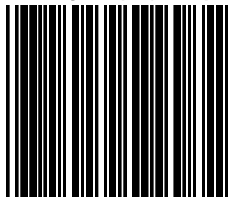
起動時に音を鳴らす



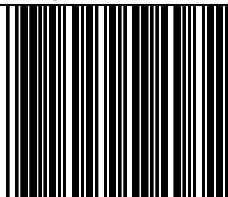
起動時に音を鳴らさない



ビープ トーン  
スリープ導入時 音を鳴らす



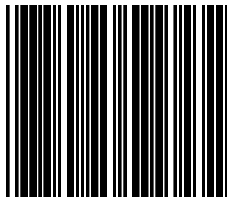
スリープ導入時 音を鳴らさない





# データ編集

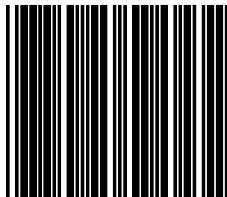
データ編集(付加)  
プリフィックス



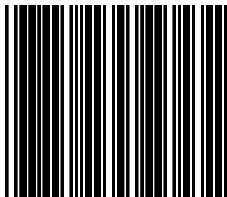
設定手順

1. “プログラミングモード開始/終了”を読む。
2. “プリフィックス”もしくは“サフィックス”を読む。
3. ASCIIキャラクタより付加したい文字を読む。  
※プリフィックスとサフィックス合わせて 10 桁まで可能
4. “SET”を読む
5. “プログラミングモード開始/終了”を読む。

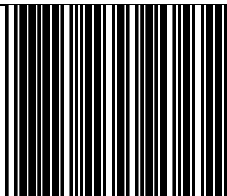
サフィックス



データ編集(付加)  
データ長を先頭付加する

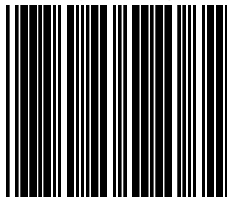


データ長を先頭付加しない



## データ編集(削除)

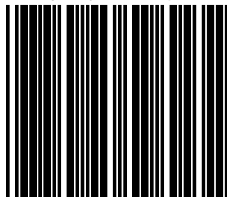
### 先頭文字削除



#### 設定手順

1. “プログラミングモード開始/終了”を読む。
2. “先頭文字削除/終端文字削除”を読む。
3. 4桁であれば、“0”→“4”と2桁分のバーコードを読む。
4. ASCIIキャラクタより設定したい区切り文字を読む。
5. “SET”を読む
6. “プログラミングモード開始/終了”を読む。

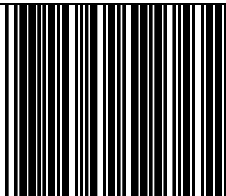
### 終端文字削除



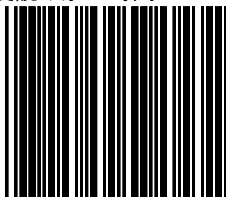
## 2度読み禁止時間

2度読み禁止時間

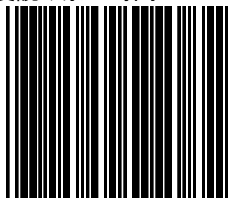
2度読み禁止時間 50msec



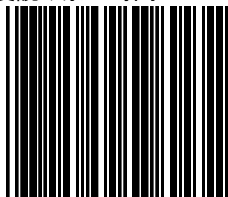
2度読み禁止時間 100msec



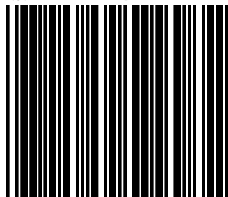
2度読み禁止時間  
2度読み禁止時間 200msec



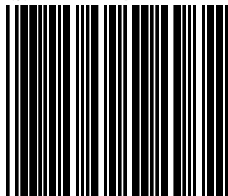
2度読み禁止時間 300msec



2度読み禁止時間  
2度読み禁止時間 400msec

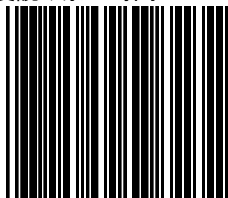


2度読み禁止時間 500msec

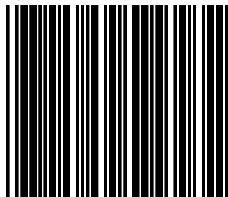




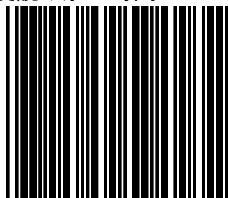
2度読み禁止時間  
2度読み禁止時間 600msec



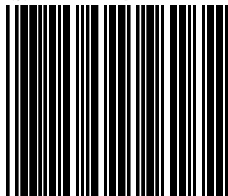
2度読み禁止時間 700msec



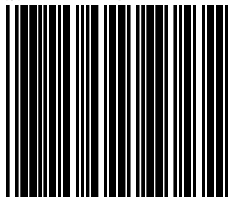
2度読み禁止時間  
2度読み禁止時間 800msec



2度読み禁止時間 900msec



2度読み禁止時間  
2度読み禁止時間 1000msec



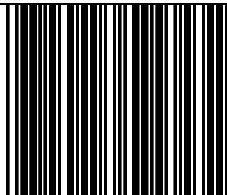
2度読み禁止時間 無制限



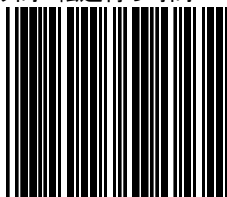
# 転送タイミング

転送タイミング(データ間)

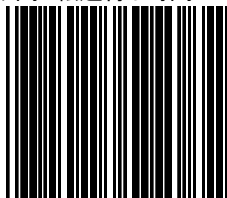
データ間 転送待ち時間 0 ms



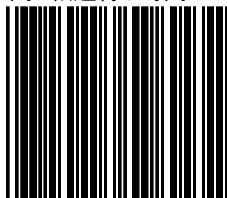
データ間 転送待ち時間 100 ms



転送タイミング(データ間)  
データ間 転送待ち時間 500 ms

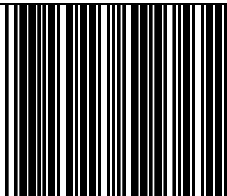


データ間 転送待ち時間 1000 ms

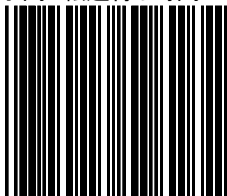


転送タイミング(文字間)

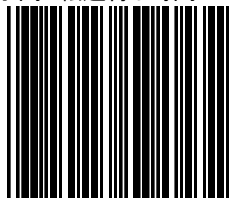
文字間 転送待ち時間 0 ms



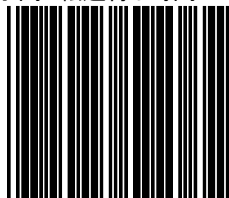
文字間 転送待ち時間 5 ms



転送タイミング(文字間)  
文字間 転送待ち時間 10 ms

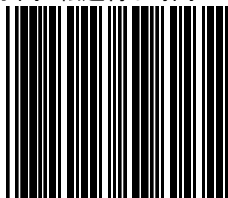


文字間 転送待ち時間 20 ms





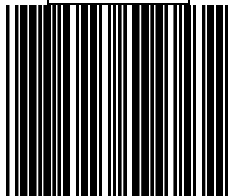
転送タイミング(文字間)  
文字間 転送待ち時間 50 ms



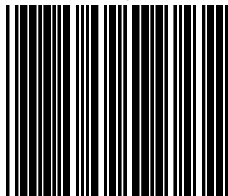
# バーコード

読取コード選択

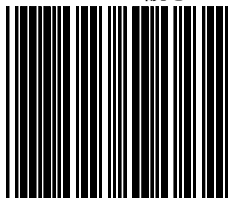
Code 39 読む



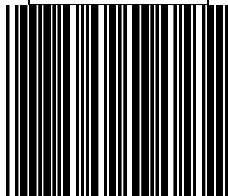
Code 39 読まない



読取コード選択  
Codabar 読む

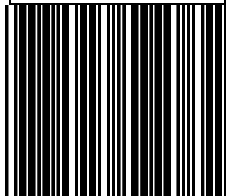


Codabar 読まない

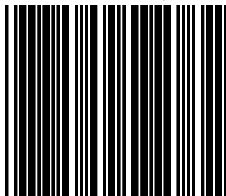


読取コード選択

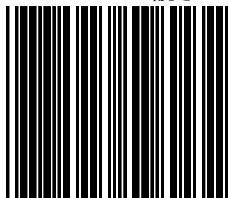
UPC/EAN/JAN 読む



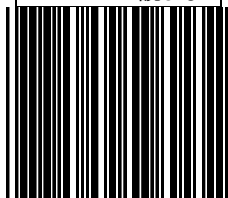
UPC/EAN/JAN 読まない



読取コード選択  
ITF 2 of 5 読む

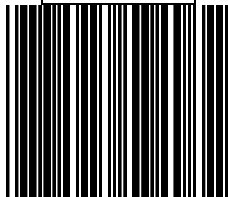


ITF 2 OF 5 読まない

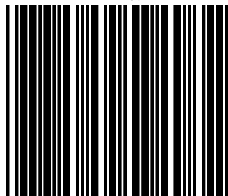


読取コード選択

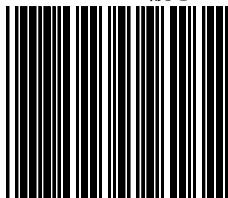
Code 128 読む



EAN-128 読まない

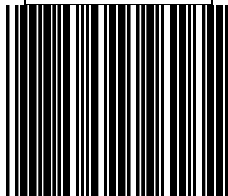


読取コード選択  
EAN-128 読む



※先に **CODE128を読む**設定を行ってください。

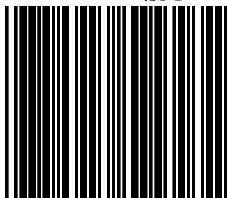
EAN-128 読まない



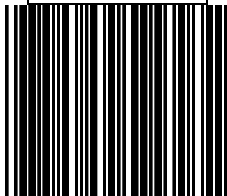


読取コード選択

Code 93 読む

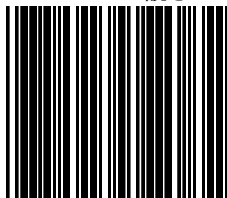


Code 93 読まない

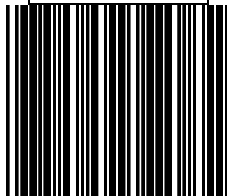


読取コード選択

Code 32 読む

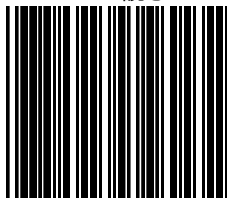


Code 32 読まない

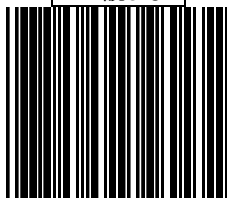


読取コード選択

MSI 読む

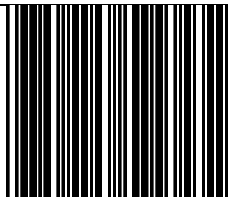


MSI 読まない

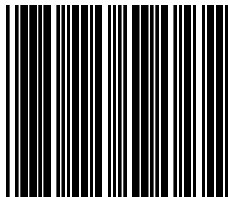


コード設定 (UPC/EAN/JAN)  
UPC/EAN 専用設定

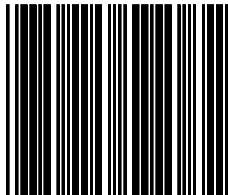
UPC/EAN/JAN を全て許可



コード設定 (UPC/EAN/JAN)  
EAN/JAN8・EAN/JAN13 読む

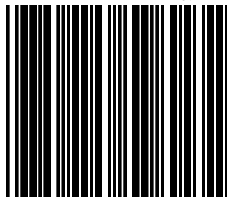


UPC-A・EAN/JAN13 読む

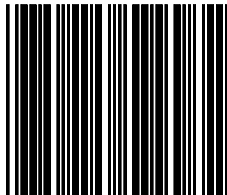


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

UPC-A・UPC-E 読む

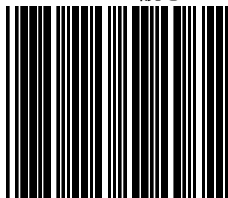


UPC-A 読む

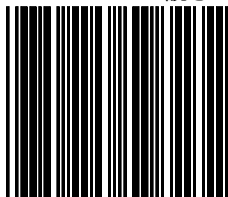


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

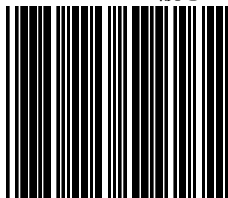
UPC-E 読む



EAN/JAN13 読む

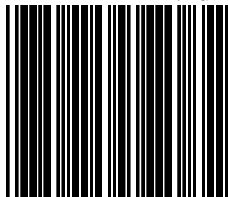


コード設定 (UPC/EAN/JAN)  
EAN/JAN8 読む

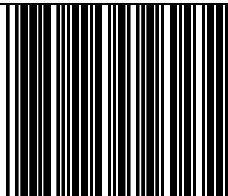




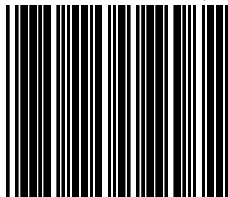
コード設定 (UPC/EAN/JAN)  
UPC-E を UPC-A に変換する



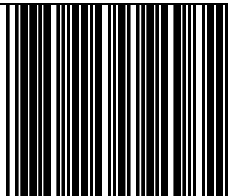
UPC-E を UPC-A に変換しない



コード設定 (UPC/EAN/JAN)  
UPC-A を EAN/JAN13 に変換する



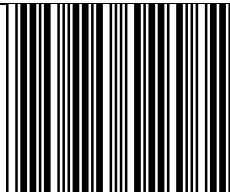
UPC-A を EAN/JAN13 に変換しない



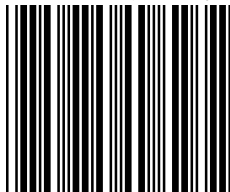
コード設定(UPC/EAN/JAN)  
EAN/JAN8をEAN/JAN13に変換する



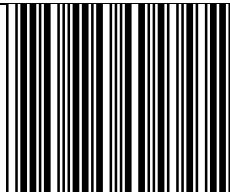
EAN/JAN8をEAN/JAN13に変換しない



コード設定 (UPC/EAN/JAN)  
EAN/JAN13 の先頭”0”を転送する

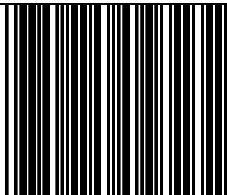


EAN/JAN13 の先頭”0”を転送しない

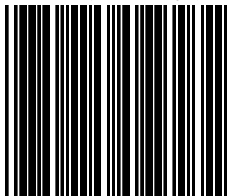


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

UPC-A の先頭文字を転送する

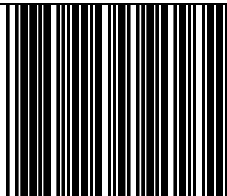


UPC-A の先頭文字を転送しない

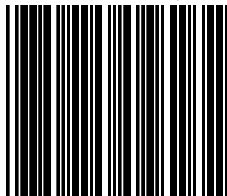


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

UPC-E の先頭文字を転送する

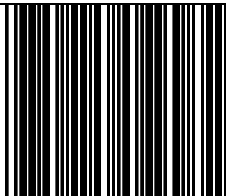


UPC-E の先頭文字を転送しない

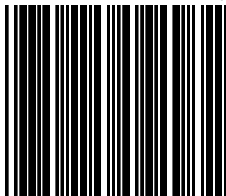


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

EAN/JAN13 のチェックデジットを転送する

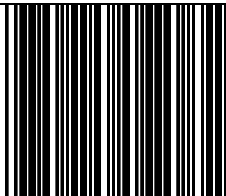


EAN/JAN13 のチェックデジットを転送しない

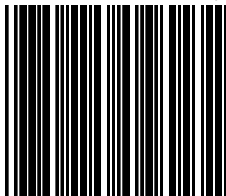


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

EAN/JAN8 のチェックデジットを転送する



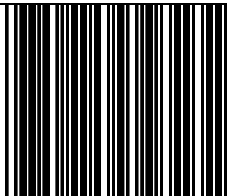
EAN/JAN8 のチェックデジットを転送しない



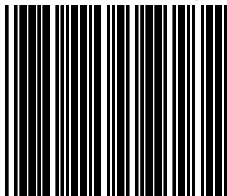


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

UPC-A のチェックデジットを転送する

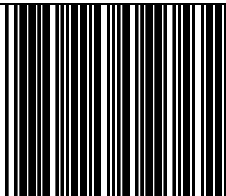


UPC-A のチェックデジットを転送しない

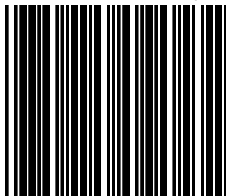


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

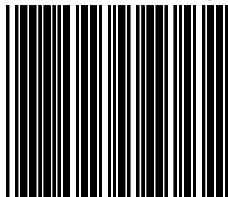
UPC-E のチェックデジットを転送する



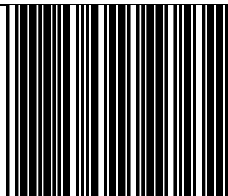
UPC-E のチェックデジットを転送しない



コード設定 (UPC/EAN/JAN)  
EAN/JAN-13 ISBN/ISSN 変換する

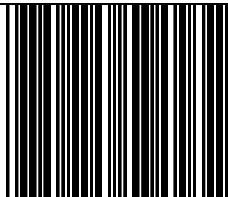


EAN/JAN-13 ISBN/ISSN 変換しない

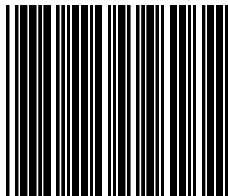


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

UPC/EAN アドオン 読まない

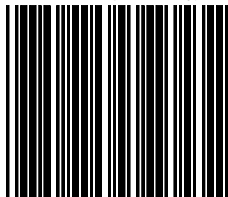


アドオン 5桁のみ読む

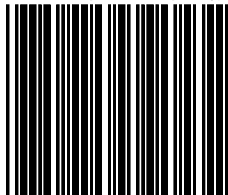


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

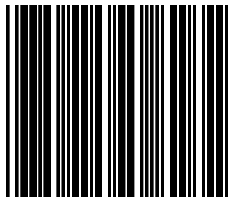
アドオン 2桁のみ読む



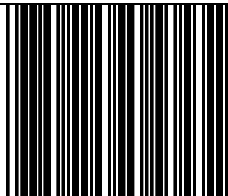
アドオン 2桁 or 5桁を読む



コード設定 (UPC/EAN/JAN)  
アドオンのデータと追加データを分離する

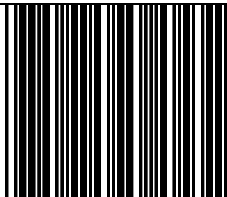


アドオンのデータと追加データを分離しない

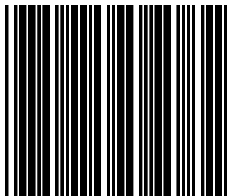


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

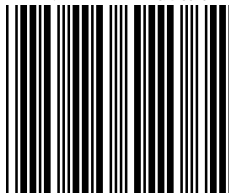
EAN/JAN/UPC+アドオンも読む



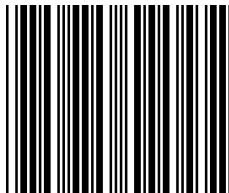
EAN/JAN/UPC+アドオンのみ読む



コード設定 (UPC/EAN/JAN)  
アドオン必須 491…(新雑誌コード)

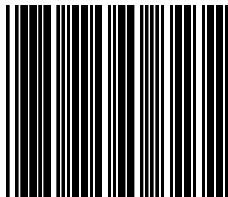


アドオン必須 491…(新雑誌コード)  
491 以外は、アドオンで扱わない

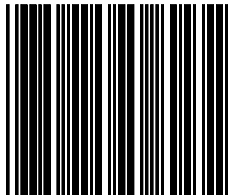




コード設定 (UPC/EAN/JAN)  
アドオン必須 378/379…(フランス)

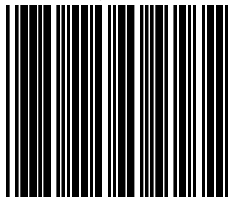


アドオン必須 378/379…(フランス)  
378/379 以外は、アドオンで扱わない



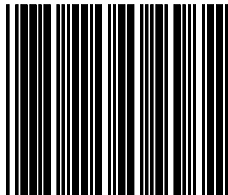
コード設定 (UPC/EAN/JAN)

アドオン必須 978/977…



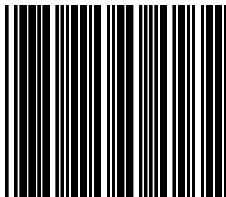
アドオン必須 978/977…

978/977 以外は、アドオンで扱わない



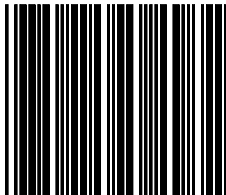
コード設定 (UPC/EAN/JAN)

アドオン必須 434/439



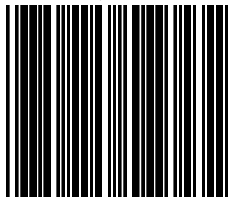
アドオン必須 434/439

434/439 以外は、アドオンで扱わない



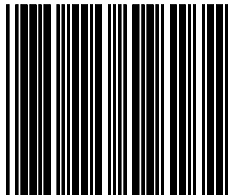
コード設定 (UPC/EAN/JAN)

アドオン必須 419/414…



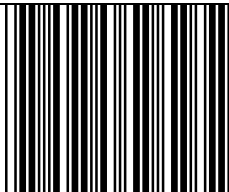
アドオン必須 419/414…

419/414 以外は、アドオンで扱わない

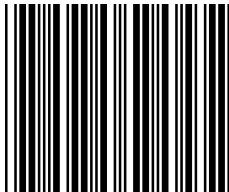


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

2段バーコードを許可しない



2段バーコード必須 978/192



コード設定 (UPC/EAN/JAN)

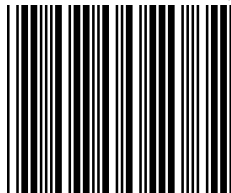
2段バーコード 区切りなし



2段バーコード 区切りあり



コード設定 (UPC/EAN/JAN)  
2段バーコード 区切り文字設定

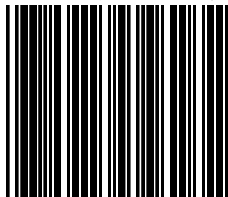


設定手順

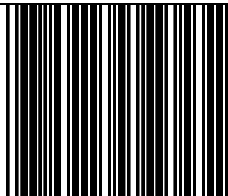
1. “プログラミングモード開始/終了”を読む。
2. “2段バーコード区切りあり”を読む。
3. “2段バーコード区切り文字設定”を読む。
4. ASCIIキャラクタより設定したい区切り文字を読む。
5. “SET”を読む
6. “プログラミングモード開始/終了”を読む。

コード設定 (UPC/EAN/JAN)

UPC-A 一致チェック回数=0



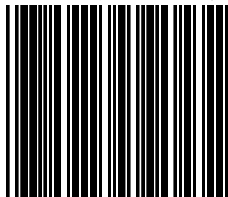
UPC-A 一致チェック回数=1



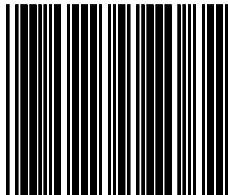


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

UPC-A 一致チェック回数=2

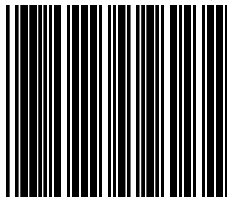


UPC-A 一致チェック回数=3

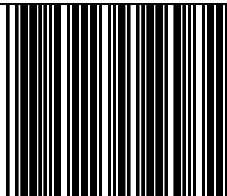


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

UPC-E 一致チェック回数=0

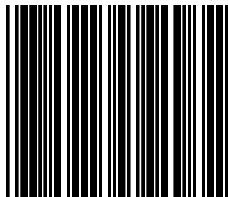


UPC-E 一致チェック回数=1

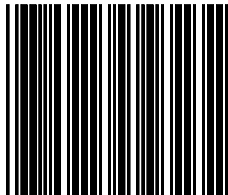


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

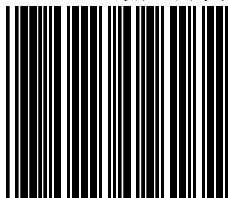
UPC-E 一致チェック回数=2



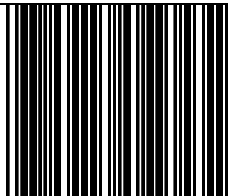
UPC-E 一致チェック回数=3



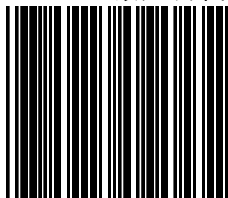
コード設定(UPC/EAN/JAN)  
EAN/JAN13 一致チェック回数=0



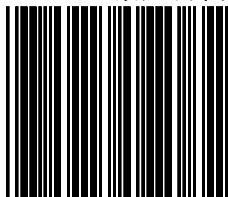
EAN/JAN13 一致チェック回数=1



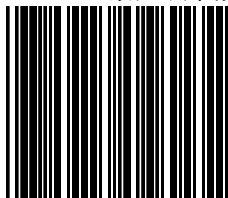
コード設定(UPC/EAN/JAN)  
EAN/JAN13 一致チェック回数=2



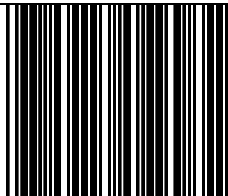
EAN/JAN13 一致チェック回数=3



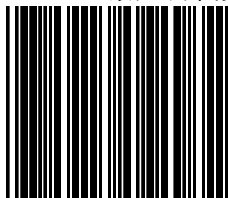
コード設定(UPC/EAN/JAN)  
EAN/JAN8 一致チェック回数=0



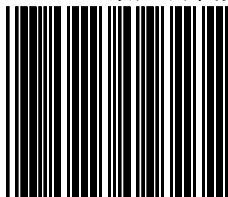
EAN/JAN8 一致チェック回数=1



コード設定(UPC/EAN/JAN)  
EAN/JAN8 一致チェック回数=2

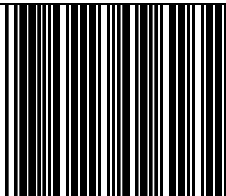


EAN/JAN8 一致チェック回数=3

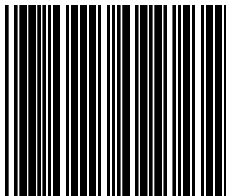


コード設定(UPC/EAN/JAN)

アドオン2桁 一致チェック回数=0

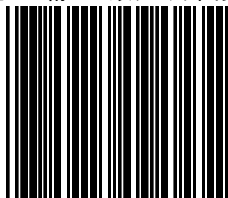


アドオン2桁 一致チェック回数=1

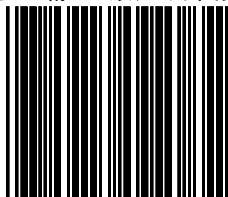




コード設定(UPC/EAN/JAN)  
アドオン2桁 一致チェック回数=2

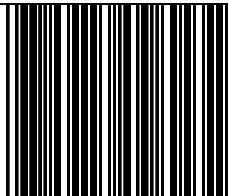


アドオン2桁 一致チェック回数=3

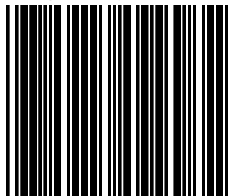


コード設定(UPC/EAN/JAN)

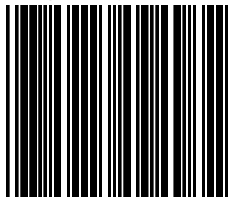
アドオン5桁 一致チェック回数=0



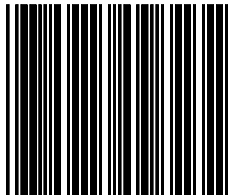
アドオン5桁 一致チェック回数=1



コード設定(UPC/EAN/JAN)  
アドオン5桁 一致チェック回数=2



アドオン5桁 一致チェック回数=3

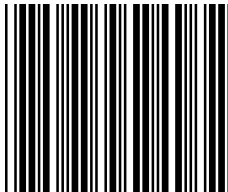


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

アドオン検索時間=6

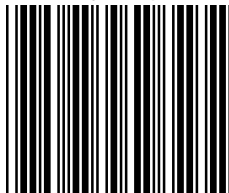


アドオン検索時間=7



コード設定 (UPC/EAN/JAN)

アドオン検索時間=8



アドオン検索時間=9



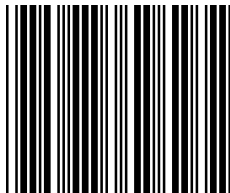
コード設定 (UPC/EAN/JAN)

アドオン検索時間 = 10

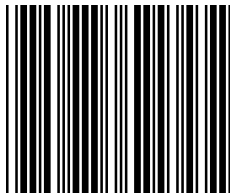


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

アドオン マージン=15/15

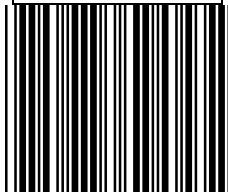


アドオン マージン=5/10

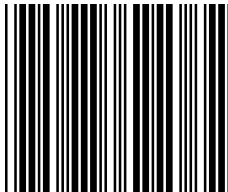


コード設定 (UPC/EAN/JAN)

アドオン マージン=1/5

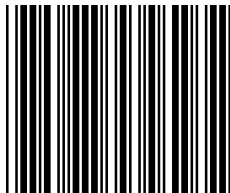


アドオン マージン=0/0





コード設定 (UPC/EAN/JAN)  
EAN/JAN/UPC マージン=15/15



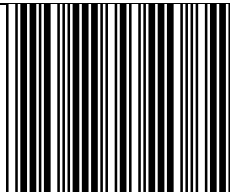
EAN/JAN/UPC マージン=10/10



コード設定 (UPC/EAN/JAN)  
EAN/JAN/UPC マージン=7/7



EAN/JAN/UPC マージン=5/5

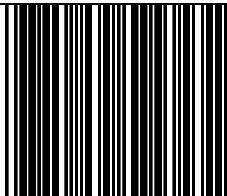


コード設定 (UPC/EAN/JAN)  
EAN/JAN/UPC マージン=2/2

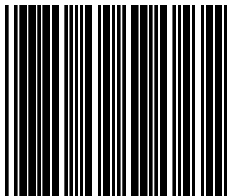


コード設定 (CODE39)

CODE39 スタANDARDタイプ

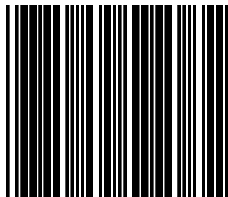


CODE39 FullAscii タイプ

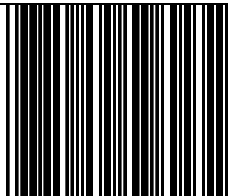


コード設定 (CODE39)

CODE39 スタートストップキャラクタを転送する

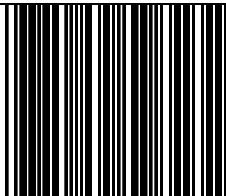


CODE39 スタートストップキャラクタを転送しない

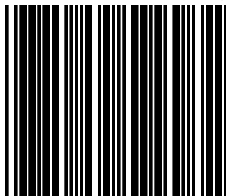


コード設定 (CODE39)

CODE39 チェックデジットを扱わない

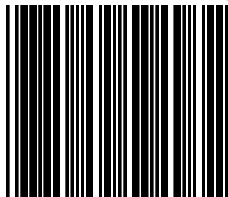


CODE39 チェックデジットを扱い、転送する



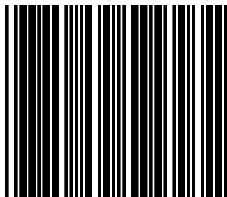
コード設定 (CODE39)

CODE39 チェックデジットを扱い、転送しない



## コード設定 (CODE39)

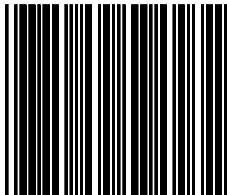
### CODE39 最大データ長



### 設定手順

1. “プログラミングモード開始/終了”を読む。
2. “最大/最小データ長”を読む。
3. 4桁であれば、“0”→“4”と2桁分のバーコードを読む。
4. ASCIIキャラクタより設定したい区切り文字を読む。
5. “SET”を読む
6. “プログラミングモード開始/終了”を読む。

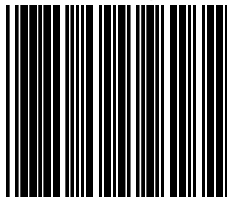
### CODE39 最小データ長



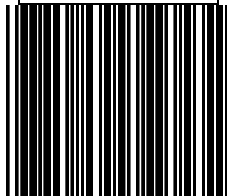


コード設定 (CODE39)

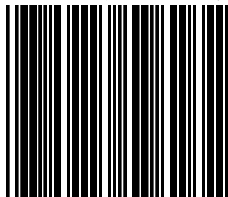
CODE39 連結する



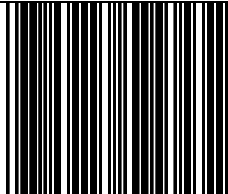
CODE39 連結しない



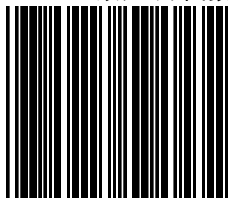
コード設定 (CODE39)  
CODE39 一致チェック回数=0



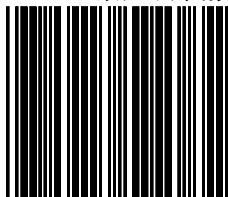
CODE39 一致チェック回数=1



コード設定 (CODE39)  
CODE39 一致チェック回数=2

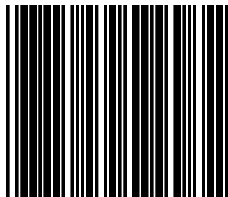


CODE39 一致チェック回数=3

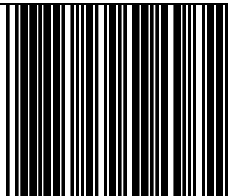


## コード設定 (CODABAR)

CODABAR スタートストップキャラクタを転送しない

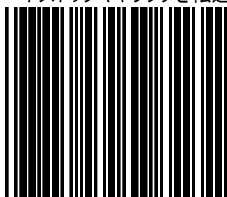


CODABAR スタートストップキャラクタを転送する(A,B,C,D)

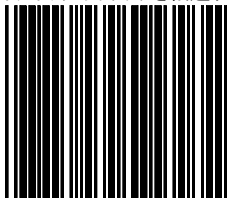


## コード設定 (CODABAR)

CODABAR スタートストップキャラクタを転送する DC1~DC4

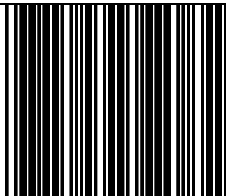


CODABAR スタートストップキャラクタを転送する a/t,b/n,c/\*,d/e

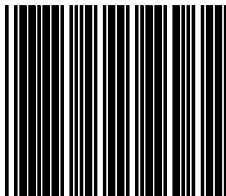


コード設定 (CODABAR)

CODABAR チェックデジットを扱わない

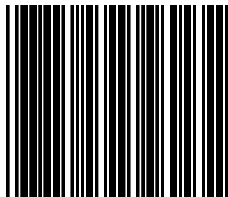


CODABAR チェックデジットを扱い、転送する

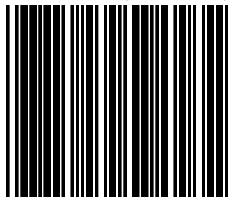


コード設定 (CODABAR)

CODABAR チェックデジットを扱い、転送しない



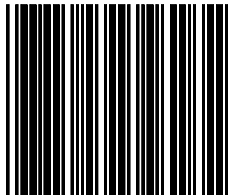
コード設定 (CODABAR)  
CODABAR 最大データ長



設定手順

1. “プログラミングモード開始/終了”を読む。
2. “最大/最小データ長”を読む。
3. 4桁であれば、“0”→“4”と2桁分のバーコードを読む。
4. ASCIIキャラクタより設定したい区切り文字を読む。
5. “SET”を読む
6. “プログラミングモード開始/終了”を読む。

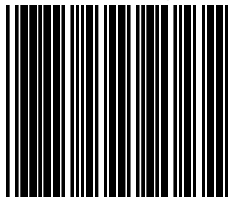
CODABAR 最小データ長



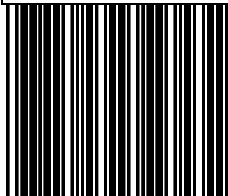


コード設定 (CODABAR)

CODABAR 連結する

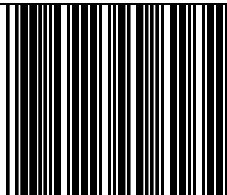


CODABAR 連結しない

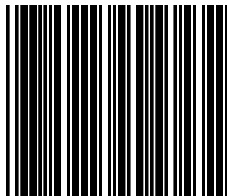


コード設定 (CODABAR)

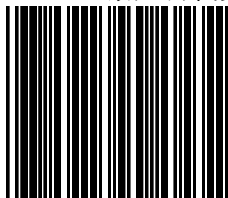
CODABAR 一致チェック回数=0



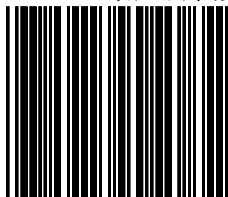
CODABAR 一致チェック回数=1



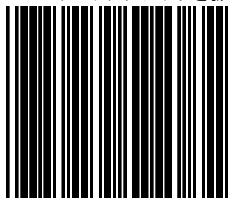
コード設定 (CODABAR)  
CODABAR 一致チェック回数=2



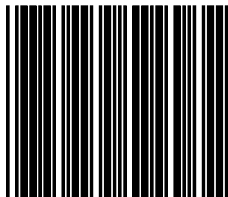
CODABAR 一致チェック回数=3



コード設定 (CODE128/EAN128)  
CODE128 チェックデジットを扱わない

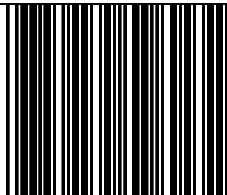


CODE128 チェックデジットを扱い、転送する



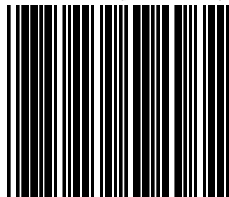
コード設定 (CODE128/EAN128)

CODE128 チェックデジットを扱い、転送しない



## コード設定 (CODE128/EAN128)

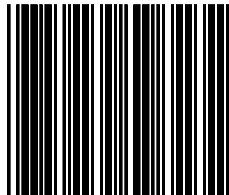
### CODE128 最大データ長



### 設定手順

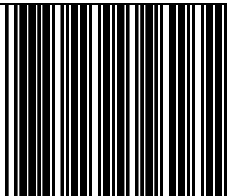
1. “プログラミングモード開始/終了”を読む。
2. “最大/最小データ長”を読む。
3. 4桁であれば、“0”→“4”と2桁分のバーコードを読む。
4. ASCIIキャラクタより設定したい区切り文字を読む。
5. “SET”を読む
6. “プログラミングモード開始/終了”を読む。

### CODE128 最小データ長

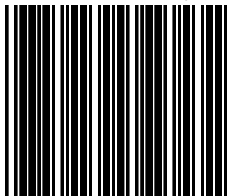


コード設定 (CODE128/EAN128)

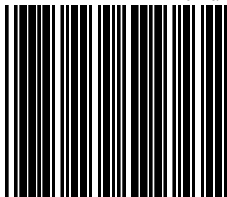
EAN128 FNC1 コードを転送する



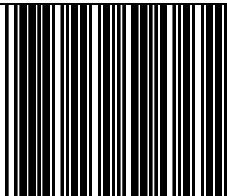
EAN128 FNC1 コードを転送しない



コード設定 (CODE128/EAN128)  
CODE128 FNC2 コードによる蓄積連結をする



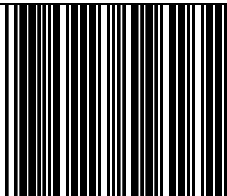
CODE128 FNC2 コードによる蓄積連結をしない



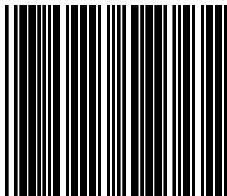


コード設定 (CODE128/EAN128)

CODE128 一致チェック回数=0

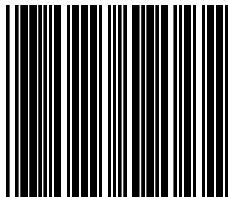


CODE128 一致チェック回数=1

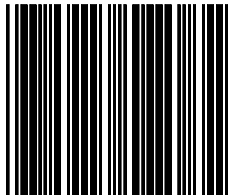


コード設定 (CODE128/EAN128)

CODE128 一致チェック回数=2

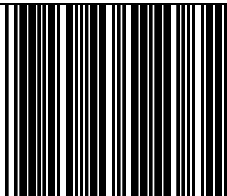


CODE128 一致チェック回数=3

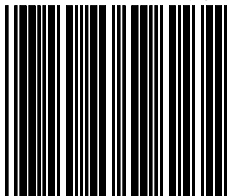


コード設定 (ITF)

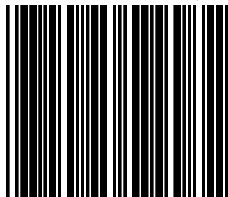
ITF チェックデジットを扱わない



ITF チェックデジットを扱い、転送する

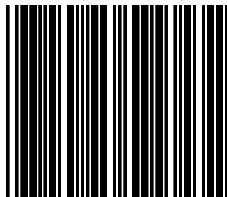


コード設定(ITF)  
ITF チェックデジットを扱い、転送しない



## コード設定 (ITF)

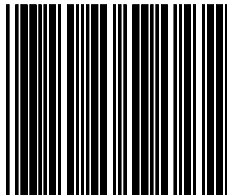
### ITF 最大データ長



### 設定手順

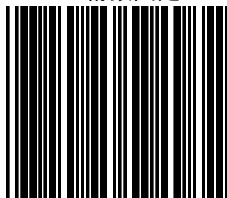
1. “プログラミングモード開始/終了”を読む。
2. “最大/最小データ長”を読む。
3. 4桁であれば、“0”→“4”と2桁分のバーコードを読む。
4. ASCIIキャラクタより設定したい区切り文字を読む。
5. “SET”を読む
6. “プログラミングモード開始/終了”を読む。

### ITF 最小データ長

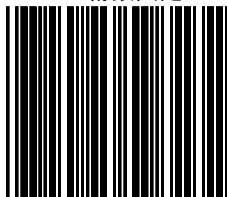


コード設定(ITF)

ITF 桁数固定1

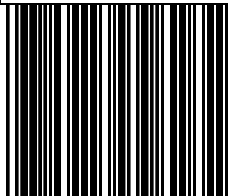


ITF 桁数固定2

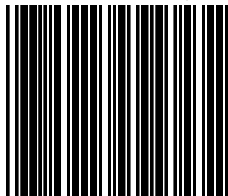


コード設定(ITF)

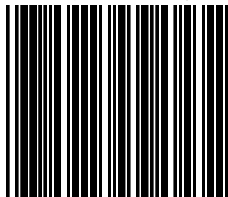
ITF 一致チェック回数=0



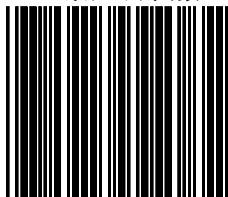
ITF 一致チェック回数=1



コード設定(ITF)  
ITF 一致チェック回数=2

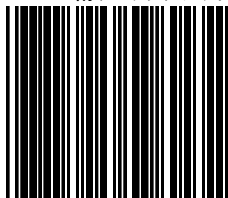


ITF 一致チェック回数=3

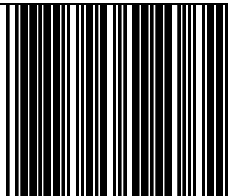




コード設定 (MSI/PLESSY)  
MSI/PLESSY 2桁チェックデジットを扱わない

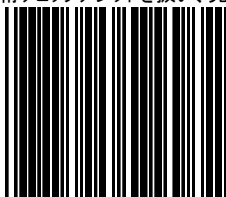


MSI/PLESSY 2桁チェックデジットを扱い、転送しない

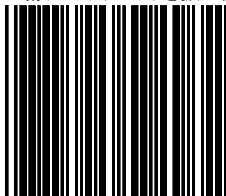


## コード設定 (MSI/PLESSY)

MSI/PLESSY 2桁チェックデジットを扱い、先頭1桁を転送する

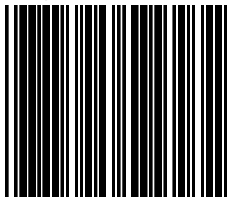


MSI/PLESSY 2桁チェックデジットを扱い、2桁を転送する

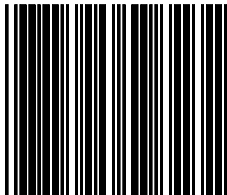


コード設定 (MSI/PLESSY)

MSI/PLESSY 1桁チェックデジットを扱い、転送する

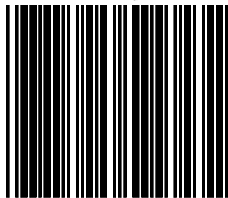


MSI/PLESSY 1桁チェックデジットを扱い、転送しない



## コード設定 (MSI/PLESSY)

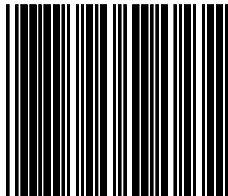
### MSI/PLESSY 最大データ長



### 設定手順

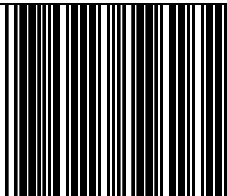
1. “プログラミングモード開始/終了”を読む。
2. “最大/最小データ長”を読む。
3. 4桁であれば、“0”→“4”と2桁分のバーコードを読む。
4. ASCIIキャラクタより設定したい区切り文字を読む。
5. “SET”を読む
6. “プログラミングモード開始/終了”を読む。

### MSI/PLESSY 最小データ長

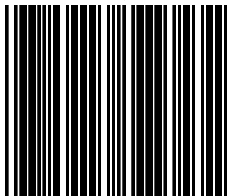


コード設定 (MSI/PLESSY)

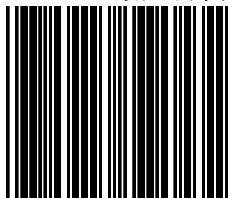
MSI/PLESSY 一致チェック回数=0



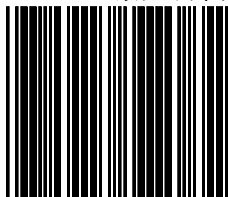
MSI/PLESSY 一致チェック回数=1



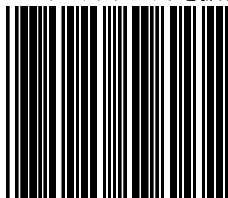
コード設定 (MSI/PLESSY)  
MSI/PLESSY 一致チェック回数=2



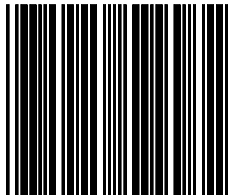
MSI/PLESSY 一致チェック回数=3



コード設定 (CODE93)  
CODE93 チェックデジットを扱わない

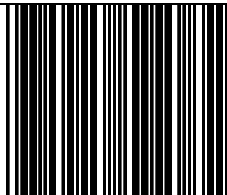


CODE93 チェックデジットを扱い、転送する



コード設定 (CODE93)

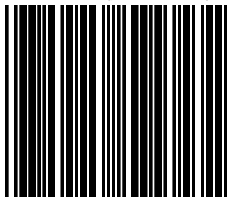
CODE93 チェックデジットを扱い、転送しない





コード設定 (CODE93)

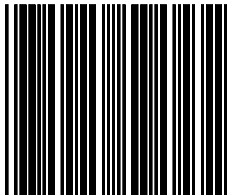
CODE93 最大データ長



#### 設定手順

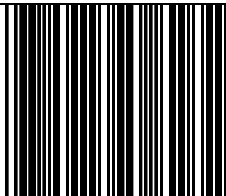
1. “プログラミングモード開始/終了”を読む。
2. “最大/最小データ長”を読む。
3. 4桁であれば、“0”→“4”と2桁分のバーコードを読む。
4. ASCIIキャラクタより設定したい区切り文字を読む。
5. “SET”を読む
6. “プログラミングモード開始/終了”を読む。

CODE93 最小データ長

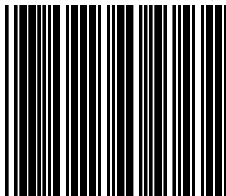


コード設定 (CODE93)

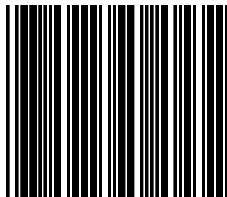
CODE93 一致チェック回数=0



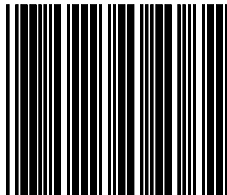
CODE93 一致チェック回数=1



コード設定 (CODE93)  
CODE93 一致チェック回数=2



CODE93 一致チェック回数=3



# コードIDの選択

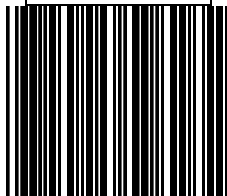
## コード ID 設定

**バーコードタイプは最大2桁のコードIDで設定できます。  
手順は以下の通り:**

- 1.) “プログラミングモードの開始／終了” をスキャン
- 2.) “コードIDを付加する” をスキャン
- 3.) ASCII テーブル (最大2桁)から新たなコードマークをスキャン. 例えば, 一つ“AB”がコードマークで使いたい場合は“A”と“B”をスキャン
- 4.) “SET” をスキャン
- 5.) “プログラミングモードの開始／終了”をスキャン

## コード ID 設定

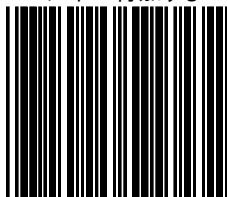
コードID付加しない



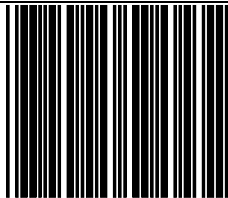
“コードID付加する”を設定すると、ラベル ID を以下の様にバーコードデータの前に付加します。

Code 39	M
ITF 2 of 5	I
Chinese post code	H
UPC-A	A
UPC-E	E
EAN-13	F
EAN-8	FF
Codabar	N
Code 128	K
Code 93	L
MSI/Plessey	P

コードID付加する

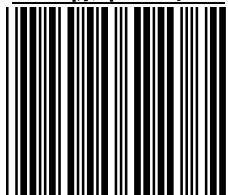


コード ID 設定  
**ALPHA-30 フォーマット**



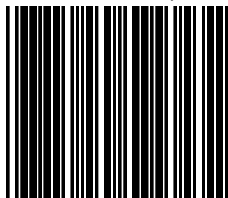
バーコード体系	コード ID
UPC-A	A
UPC-E	E
EAN-8	FF
EAN-13	F
CODE 39	*
CODBAR	%
ITF 2 OF 5	i
CODE 93	&
CODE 128	#
MSI/PLESSY	@
EAN-128	P

**AIM 標準コード ID**

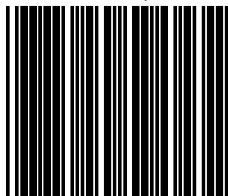


コード ID 設定(バーコード別)

CODE39 コード ID

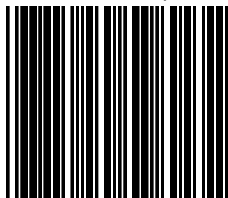


ITF コード ID

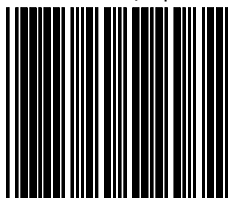




コード ID 設定(バーコード別)  
UPC-E コード ID

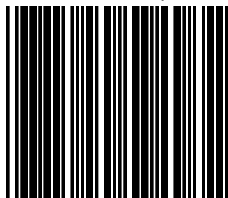


UPC-A コード ID

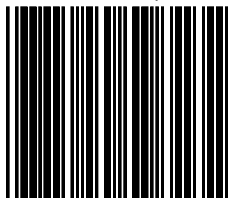


コード ID 設定(バーコード別)

JAN13 コード ID

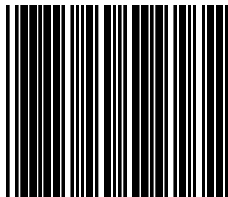


JAN8 コード ID

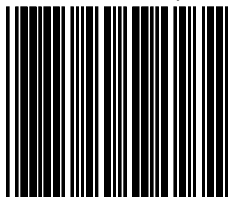


コード ID 設定(バーコード別)

CODABAR コード ID

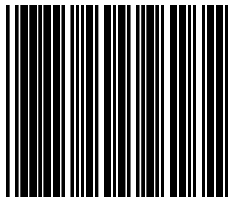


CODE128 コード ID

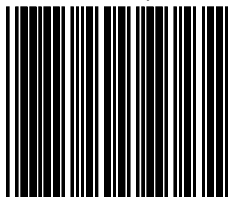


コード ID 設定(バーコード別)

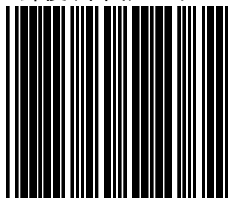
CODE93 コードID



MSI コードID



コード ID 設定(バーコード別)  
郵便(中国)コードID



# 付録 A

## 付録 A

### CODE 39 FULL ASCII コード表

ASCII	CODE39	HEX
NUL	%U	00
SOH	\$A	01
STX	\$B	02
ETX	\$C	03
EOT	\$D	04
ENQ	\$E	05
ACK	\$F	06
BEL	\$G	07
BS	\$H	08
HT	\$I	09
LF	\$J	0A
VT	\$K	0B
FF	\$L	0C
CR	\$M	0D
SO	\$N	0E
SI	\$O	0F
DLE	\$P	10
DC1	\$Q	11
DC2	\$R	12
DC3	\$S	13
DC4	\$T	14
NAK	\$U	15
SYN	\$V	16
ETB	\$W	17
CAN	\$X	18
EM	\$Y	19
SUB	\$Z	1A
ESC	%A	1B
FS	%B	1C
GS	%C	1D
RS	%D	1E

ASCII	CODE39	HEX
%	/E	25
&	/F	26
'	/G	27
(	/H	28
)	/I	29
*	/J	2A
+	/K	2B
,	/L	2C
-	-	2D
.	.	2E
/	/	2F
0	0	30
1	1	31
2	2	32
3	3	33
4	4	34
5	5	35
6	6	36
7	7	37
8	8	38
9	9	39
:	/Z	3A
:	%F	3B
<	%G	3C
=	%H	3D
>	%I	3E
?	%J	3F
@	%V	40
A	A	41
B	B	42
C	C	43

## 付録 A

US	%E	1F
SP	SP	20
!	/A	21
"	/B	22
#	/C	23
\$	/D	24
J	J	4A
K	K	4B
L	L	4C
M	M	4D
N	N	4E
O	O	4F
P	P	50
Q	Q	51
R	R	52
S	S	53
T	T	54
U	U	55
V	V	56
W	W	57
X	X	58
Y	Y	59
Z	Z	5A
[	%K	5B
¥	%L	5C
]	%M	5D
^	%N	5E
_	%O	5F
`	%W	60
a	+A	61
b	+B	62
c	+C	63
d	+D	64

D	D	44
E	E	45
F	F	46
G	G	47
H	H	48
I	I	49
e	+E	65
f	+F	66
g	+G	67
h	+H	68
i	+I	69
j	+J	6A
k	+K	6B
l	+L	6C
m	+M	6D
n	+N	6E
o	+O	6F
p	+P	70
q	+Q	71
r	+R	72
s	+S	73
t	+T	74
u	+U	75
v	+V	76
w	+W	77
x	+X	78
y	+Y	79
z	+Z	7A
{	%P	7B
	%Q	7C
}	%R	7D
~	%S	7E
DEL	%T	7F

## 付録 B

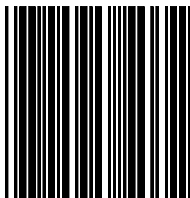
### 付録 B

#### ファンクションキー 割り当て

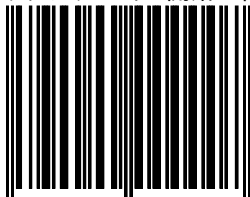
ファンクションキー	ASCII	CODE39	ファンクションキー	ASCII	CODE39
Ins	\$A	01	F1	\$Q	11
Del	\$B	02	F2	\$R	12
Home	\$C	03	F3	\$S	13
End	\$D	04	F4	\$T	14
Up	\$E	05	F5	\$U	15
Down	\$F	06	F6	\$V	16
Left	\$G	07	F7	\$W	17
Backspace	\$H	08	F8	\$X	18
TAB	\$I	09	F9	\$Y	19
Enter (num)	\$J	0A	F10	\$Z	1A
Right	\$K	0B	F11	%A	1B
PgUp	\$L	0C	F12	%B	1C
Enter	\$M	0D	ESC	%C	1D
PgDn	\$N	0E	Ctl (L)	%D	1E
shift	\$O	0F	Alt (L)	%E	1F
5 (num)	\$P	10			



SET



プログラミングモードの開始／終了





# 株式会社 アイテックス

URL: [www.j-itecs.co.jp/](http://www.j-itecs.co.jp/)

本社 〒111-0041

東京都台東区元浅草1-6-13 元浅草MNEビル 6F

tel 03-5246-9420 fax 03-5246-9421

大阪営業所 〒541-0045

大阪府中央区道修町2-1-10 TMB 道修町ビル 3F

tel 06-6223-9420 fax 06-6223-9421

Part No.: MUL-53243-03